



2015 年度
認知症介護研究・研修
東京センター
年報

序にかえて

日本の高齢化率は、2060年には約4割に達すると見込まれている。この時点での認知症の人の将来推計値は約1,200万人であるから、その家族を含めれば2,000万人～3,000万人の国民に影響が及ぶことになる。これは極めて深刻な事態である。介護保険制度の改正は2025年を踏まえて行われたが、その時の認知症の人の数は730万人とされ、新オレンジプランにより施策が進められているが、2025年はわずか9年後である。対策を急がなければならない。

こうした中で、東京センターにおいては、平成27年度、「認知症の人、本人の視点を重視した地域ケアの質の向上と推進」をビジョンとして、研究・研修・普及・広報に力点を置いて事業を展開してきた。

研究部門においては、「自治体・地域」が主たるテーマであった。認知症施策を円滑かつ効果的に推進するためには、地域の実情に応じて自治体行政が、どのような方針・戦略をもって企画立案・実行していくかが極めて重要となる。また、それに呼応して地域の住民活動をはじめとする様々な社会資源がどのような連携を図るかも認知症施策の実効性を期するためのポイントとなる。この際、要となる人材が認知症地域支援推進員である。そのため、推進員の効果的な活動と地域資源ネットワーク構築の促進に関する研究を実施し、研究成果を普及した。また、社会問題化している「認知症の人の行方不明を防ぎ安心して外出できる町づくりのあり方」について研究し全国フォーラムとして報告した。更に「BPSDの予防・軽減に資する効果的実践事例の収集方法に関する研究」を実施した。「認知症の人に対する適切な医療・ケアを目指して経年的に情報を蓄積する全国的な情報登録・連携システム」を構築するためのソフト開発・検証を行った。

研修部門では、センター創設以来続けている認知症介護指導者研修を実施し、平成27年度末で累計779人の修了生を輩出した。認知症地域支援推進員研修は、平成23年度から開始されているが、27年度末で累計3,390人の受講者が研修を修了し地域で活躍している。このほか、随時セミナー等の開催により認知症ケアの普及に努めた。

なお、熊本地方の大震災においては、センターの修了生を中心として積極的な救援活動が行われたことは特筆に値することであった。また、27年度は当センター設置主体である社会福祉法人浴風会90周年に当たり、杉並区民・関係者の参加を得たセッション杉並における講演会・シンポジウムの開催に中心的な役割を果たした。

このほか、新オレンジプランの「認知症の人の生活を支える介護の提供（良質な介護を担う人材の確保）」の一環として新任の介護職員等が認知症介護に最低限必要な知識・技能をeラーニングも活用して修得できる基礎研修を平成28年度から導入するための研究・教材開発・試行を3センター共同で行った。

今後も、センターにおいては、新オレンジプランを踏まえた、研究・研修・普及・広報事業を進め、仙台と大府の両センターと連携を図りながら認知症ケアに取り組んで参りたい。



2016年7月
社会福祉法人浴風会 認知症介護研究・研修東京センター
センター長 京 極 高 宣

序にかえて …………… 3

I 研究活動

1. 研究活動の概要 ……………	8
2. 2015年度の研究活動報告 ……………	9
1) 都道府県及び市区町村における認知症地域支援推進員の効果的な活動と地域資源ネットワーク構築の促進に関する調査研究事業（厚生労働省老人保健健康増進等事業）	…………… 9
2) 認知症ケアの標準化に関する研究（厚生労働科学研究費補助金分担研究）	…………… 11
3) 認知症地域資源連携検討事業 認知症の本人と家族が地域でよりよく暮らし続ける支援体制を築いていくために（運営費研究）	…………… 13
4) 自己評価による認知症介護指導者養成研修の効果評価研究（運営費研究）	…………… 15
5) 認知症高齢者のBPSDの予防・軽減に資する効果的実践事例の収集方法の検討（全国生協連グループ社会福祉事業等助成事業）	…………… 16
6) 認知症の人の行方不明を防ぎ安心して外出できるまちづくり推進事業（全国生協連グループ社会福祉事業等助成事業）	…………… 18
7) 在宅医療連携システムの構築に焦点をあてた、地域包括ケアにおける認知症患者の困難ケースにおける連携のあり方に関する研究（公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団）	…………… 20

Ⅱ 研修活動

1. 研修活動の概要 …………… 24
2. 2015年度の研修活動報告 …………… 25
 - 1) 認知症介護指導者養成研修 …………… 25
 - 2) 認知症介護指導者フォローアップ研修 …………… 32
 - 3) 認知症地域支援推進員研修（都道府県等委託事業） …………… 36
 - 4) ひもときシートを活用したケアの気づきを学ぶ研修 …………… 38

Ⅲ その他の活動

1. 2015年度東京センター研究成果報告会（認知症ケアセミナー「認知症の人がより良く生きる地域支援」） …………… 44
2. 2015年度東京センター公開講座（公開講座「認知症カフェを知っていますか」） …………… 45
3. 認知症介護研究・研修センター 2015年度3センター合同研究成果報告会「認知症ケアの行方」 …………… 46
4. 認知症介護情報ネットワーク（通称：DCnet）の活用状況 …………… 47

Ⅳ スタッフ紹介 …………… 50

Ⅴ 東京センター活動概要

1. 活動実績概要 …………… 56
2. 2015年度東京センター活動一覧 …………… 58